

まちのニュース カメラアイ ～地域の問題をお届けします～

9/20
(日)



ソフトテニス大会 (開村100周年記念事業)

総合体育館南側のテニスコートで、第24回和寒町ソフトテニス大会が開催されました。

大会は男女別のダブルスで、レベルに応じてA級からC級に分かれ、道内各地の愛好者88名がテニスに汗を流しました。

町内からは6名の選手が参加し、男子B級で須賀博さんのペアが2位、女子B級で福本征子さんのペアが3位に入賞し、地元選手の意地を見せました。

9/15
(火)



100歳のお祝いに記念品を贈呈

9月15日の「老人の日」記念事業として、今年度100歳を迎えられる5名の方に、内閣総理大臣からの祝状と記念品の銀杯を、奥山町長から贈呈しました。

字塩狩 小野 正敏さん 字三笠 佐藤シケ子さん
字三笠 越智フミ子さん 字三笠 田中ちよみさん
字西和 曾我部孝義さん (写真は小野正敏さん)



9/24
(木)

交通安全を呼びかけ

交流施設ひだまり前で、交通安全少年隊がドライバーに安全運転を呼びかけました。

隊員たちが願いをこめたメッセージカードと収穫されたばかりの野菜を手渡し、「安全運転お願いします！」と元気よく呼びかけると、ドライバーも笑顔で受け取ってくれました。

9/17
(木)



笑い・おどろき・感動の落語会

恵み野ホールで三笠山大学特別公開講座として、和寒町ゆかりの落語家、春風亭柏枝さんによる落語会が開催されました。色物 三増紋之助さんによる曲独楽に喝采が上がり、二ツ目 三笑亭可女次さんの漫談に抱腹絶倒し、真打 春風亭柏枝さんの多彩な話芸に終始心をつかれ、大満足の130分でした。



9/25
(金)

稲刈り体験

北のきらきらキッズプロジェクト (近藤俊人理事長) が開村100周年にあわせて進めている「100年の稲作」プロジェクト。

和寒小学校5年生28名は、5月に自らが手植えた歴代10種の稲を刈り取り、農業活性化センター農想塾に持ち込んでほしめしをしました。

今後はカントリーエレベーターで脱穀・もみすりを実施し、試食を予定しています。

9/18
(金)



消防士のお仕事

保育所すみれ組 (年長) の児童23名が消防署を訪れ、防火服を着て放水体験をおこない、安全・安心な暮らしを守る消防士の仕事を学びました。

その後図書館で防火DVDを鑑賞し、ホクレンショップ前でチラシを配布しながら「火の用心」を呼びかけました。



9/30
(水)

剣淵・和寒 小中学校の相互交流協定

剣淵小・中学校と和寒小・中学校は、それぞれの学校の良さを学び合い、さらなる教育活動の充実を図るため、相互交流に関する調印式をおこないました。

今後、それぞれの学校が交流を深めることによって、地域の活性化と地元へ寄与できる人づくりのために、児童や教職員の交流などを積極的に進めていきます。



10/1
(木)

民間事業所にAEDを設置 (救命サポート事業)

セブンイレブン和寒町店、ローソン和寒町店、ホクレンショップわっさむ店にAED(自動体外式除細動器)を設置しました。

救命サポート事業として昨年度は公共施設へのAED設置が整い、今年度は多くの方が利用する民間事業所に設置することで、さらなる救命率向上につなげていくことにしたものです。

AEDは、電源を入れ、音声メッセージに従って操作すればどなたでも使用でき、いざという時は、近くの設置場所にかけつけて借用することも可能になりました。



10/3
(土)

大正琴のコンサート (開村100周年記念事業)

剣淵・和寒の大正琴しらゆき会によるミニコンサートが図書館で開催され、約70名の観客が琴のやさしいメロディーに聴き入りました。

コンサートは2部構成でおこなわれ、北島三郎さんの「風雪ながれ旅」や坂本冬美さんの「祝い船」、三山ひろしさんの「あやめ雨情」、川中美幸さんの「二輪草」など往年の名曲が披露され、満員御礼となった会場を沸かせました。



9/27
(日)

着物をリフォーム (開村100周年記念事業)

リフォームファッションショー(同実行委員会主催)が恵み野ホールで開催され、町内や旭川、名寄、大阪、兵庫などの愛好者38名のモデルや奥山町長、塚崎議長が86点のリメイク服を披露しました。

タンスの奥で眠っていた着物や帯が見事な洋服に生まれ変わり、訪れた約150名の観客は服を触ったり写真を撮ったりと楽しんでいました。



9/27
(日)

天塩町とミニバレーで友好深める

総合体育館で天塩町とのスポーツ交流会が開催されました。

天塩川の上流と下流のつながりから、平成3年に天塩町と友好を結び、平成9年から隔年でスポーツ交流を続けており、今年度は和寒町体育協会が主催し、ミニバレー競技をおこないました。

両町50名の参加者はミニバレーで汗を流したあと、昼食をとりながら懇親を深め、「次回もみんなで会いましょう。」と友好の輪が広がっていました。

試合は和寒町の勝利となりました。



9/28
(月)

努力を続ければ夢は叶う

キャリア教育の一環として、海外保健協会ワーカーとしてネパールで保健プロジェクトに尽力されている医師 橋戸健次郎さんを招き、和寒中学校で講演会をおこないました。

講演の中で「具体的な目標を立て、計画通りに不断の努力をすることで、大概の夢は絶対に実現することができる。」と、胸が熱くなる言葉を生徒達に語ってくれました。

10/6
(火)



買い物支援「ご用聞き隊」

商工会商業部会の有志による「ご用聞き隊」が、交通手段が無くあまり買い物に行けない方たちに気軽にお買い物を楽しんでもらおうと、町内4ヶ所を回り移動販売をおこないました。買い物客は「わざわざ来てくれてありがとう」と近所での買い物を喜んでいました。



10/7
(水)～

望ましい生活習慣を身につけよう

一定期間家庭を離れ、学校に通いながら規則正しい生活プログラムを実践し、公民館で共同宿泊体験をおこなう通学合宿「わっさむスクール」の第2期が、10月7日から10日までの3泊4日の日程でおこなわれました。

参加した児童は軽スポーツや人工衛星観測などさまざまな体験をしながら、起床・就寝・食事の時間といった日常のリズムを見直し、協力しながら共同生活を過ごしました。最終日におこなわれた閉所式では児童たちからの指導者へのお礼の言葉などもあり、すっかり成長して自宅へと帰って行きました。

10/3
(土)



言葉の壁を越えたパフォーマンス

(開村100周年記念事業)

恵み野ホールで、が～まるちよばによるパントマイムショーが開催されました。モヒカン頭にサングラスというトレードマークの姿で登場し、独創性豊かな表現力と、観客をも巻き込んだパフォーマンスで400名の会場は爆笑の渦に包まれました。

10/10
(土)



使える品を有効的に

リサイクルセンターでクリーンタウンわっさむによる「リサイクルまつり」が開催されました。

町内外から約240名の方々が訪れ、遊休品の引き渡しやフリーマーケット、エコ商品抽選会、コーヒー牛乳無料配布などの催しがおこなわれました。

～災害時に適切な行動がとれるよう～

仲町自治会避難訓練を実施

10月10日(土)仲町自治会と町の合同での災害避難訓練に95名が参加しました。

訓練は大雨を想定し、町職員は災害対策本部会議で指示内容を確認し避難所への物資運搬・避難者受付訓練を、仲町自治会の人たちは徒歩、車いすで町民センターに避難する訓練をおこないました。

また、オフィス及川 防災プランニング 及川太美夫代表による「どのように避難すればいいのかな？」と題した講演を開催し、「避難は早めの行動と、隣近所への声かけが大切。1人で考えずに、みんなで災害時のことを考えてください」とお話がありました。



町民センターへ避難する訓練参加者



災害対策本部会議の訓練



避難所での受付訓練



組み立て式の避難資材(間仕切り)